

## 野菜花き 6月上旬巡回調査結果の概要

### 【東北信】 巡回日 6月4日、5日、6日、9日

#### 1 トマト

小諸市の巡回ほ場（露地）は生育中（1段目開花期）であった。アブラムシ類の寄生がわずかにみられた。病害の発生はみられなかった。

長野市の巡回ほ場（施設・半促成栽培）は、収穫中であった。オンシツコナジラミの発生は、5月下旬調査時より多かった。病害の発生はみられなかった。

#### 2 きゅうり

長野市の巡回ほ場（施設・半促成栽培）は収穫期であった。アザミウマ類の発生が施設全体に広まり、寄生株率が高かった。また、ハダニ類の発生も5月下旬調査時より多かった。病害の発生はみられなかった。

中野市の巡回ほ場（露地栽培）は生育期であった。アブラムシ類の寄生がみられたが、少発生であった。病害の発生はみられなかった。

#### 3 いちご

南牧村の巡回ほ場は、着果期であった。アザミウマ類の寄生がわずかにみられた。病害の発生はみられなかった。

#### 4 キャベツ

小諸市の巡回ほ場は、結球期であった。チョウ目害虫の被害がわずかにみられた。病害の発生はみられなかった。

南牧村の巡回ほ場は、結球期であった。コナガの寄生がみられ、チョウ目害虫による被害株みられたが、少発生であった。病害の発生はみられなかった。

軽井沢町の巡回ほ場は、結球期であった。チョウ目害虫の被害がみられたが少発生であった。病害の発生はみられなかった。

長野市の巡回ほ場は生育期（8葉期）であった。コナガの寄生はわずかであったが、チョウ目害虫の被害株率は、平年と比べやや高かった。病害の発生はみられなかった。

#### 5 ブロッコリー

南牧村の巡回ほ場は、生育期（5葉期）であった。チョウ目害虫の被害がわずかにみられた。病害の発生はみられなかった。

御代田町の巡回ほ場は、収穫直前であった。コナガの寄生がみられ、チョウ目害虫の被害株率は平年と比べやや高かった。病害の発生はみられなかった。

#### 6 はくさい

上田市の巡回ほ場は、定植前であった。

小諸市、小海町の巡回ほ場は、いずれも結球期であった。チョウ目害虫の被害がわずかにみられた。病害の発生はみられなかった。

南牧村の巡回ほ場は、結球期であった。チョウ目害虫の被害がみられたが、少発生であった。病害の発生はみられなかった。

#### 7 レタス

上田市の巡回ほ場は、結球期であった。菌核病の発生がわずかにみられた（図1、図2）。その他の病害虫の発生はみられなかった。

小諸市の巡回ほ場は、生育期（6葉期）であった。病害虫の発生はみられなかった。

南牧村の巡回ほ場は、結球期であった。病害虫の発生はみられなかった。

御代田町の巡回ほ場は、結球期であった。斑点細菌病の発病株率がやや高かったが、結球葉での発生はみられなかった。害虫の発生はみられなかった。



図1 レタス菌核病 (上田市)



図2 形成された菌核 (5日後)

## 8 アスパラガス

小諸市の巡回ほ場（露地栽培）は、収穫中であった。病害虫の発生はみられなかった。

小布施町の巡回ほ場（雨よけ栽培）は、立茎中であった。アザミウマ類の寄生がみられたが、寄生頭数は少なく、平年並の発生であった。病害の発生はみられなかった。

飯山市の巡回ほ場（露地栽培）は、立茎開始期であった。ジュウシホシクビナガハムシの寄生がわずかにみられた。病害の発生はみられなかった。

## 9 たまねぎ

長野市の巡回ほ場は、倒伏開始期あった（前回調査ほ場は収穫済）。アザミウマ類の発生が多く、被害度も高かった。病害の発生はみられなかった。

## 10 ながいも

長野市のながいもは、定植前であった。

## 11 ばれいしょ

小諸市の巡回ほ場は、生育中であった。病害虫の発生はみられなかった。

## 12 きく

佐久穂町の巡回ほ場は、生育期（草丈 40 cm程度）であった。病害虫の発生はみられなかった。

### 【中南信】 巡回日 6月4日、5日、6日、9日

#### 1 トマト

南箕輪村の巡回ほ場（施設・半促成栽培）は、収穫中であった。病害虫の発生はみられなかった。

松本市の巡回ほ場（施設・半促成栽培）は、収穫中であった。花にアザミウマ類（少発生）の寄生がみられた。

伊那市の巡回ほ場（露地栽培）は、着花始めであった。病害虫の発生はみられなかった。

安曇野市の巡回ほ場（露地栽培）は、着花始めであった。葉にアブラムシ類（少発生）の寄生がみられた。

#### 2 きゅうり

松本市の巡回ほ場（施設・半促成栽培）は、収穫中であった。花及び葉にアザミウマ類（中発生）の寄生がみられ、前回より高密度となっていた。

高森町の巡回ほ場（施設・半促成栽培）は、収穫中であった。前回同様、花及び葉にアザミウマ類（中発生）の寄生がみられたほか、葉にハダニ類（少発生）の寄生がみられた。

#### 3 すいか

飯島町の巡回ほ場は、着果始め（トンネル被覆）であった。病害虫の発生はみられなかった。

松本市の巡回ほ場は、着果中（トンネル被覆除去）であった。葉にアブラムシ類（中発生）の寄生がみられ、前回より寄生株率、密度ともに高くなっていた。

#### 4 キャベツ

塩尻市の巡回ほ場は、結球後期であった。病害虫の発生はみられなかった。

朝日村の巡回ほ場は、収穫前であった。葉にコナガおよびウワバ類（いずれも少発生）の寄生がみられた。

茅野市の巡回ほ場は、生育期（5～6葉期）であった。病害虫の発生はみられなかった。

#### 5 ブロッコリー

伊那市の巡回ほ場は、出蕾期であった。ウワバ類（中発生）の寄生率が前回より高くなっていたほか（図3）、チョウ目害虫による食害（少発生）も前回と同程度みられた。



図3 ブロッコリーのウワバ類（伊那市）

#### 6 はくさい

朝日村の巡回ほ場は、結球期であった。べと病および軟腐病（いずれも少発生）の発生がみられた（図4）。

木祖村の巡回ほ場は、結球期であった。病害虫の発生はみられなかった。

#### 7 レタス

塩尻市の巡回ほ場は、収穫期であった。外葉にすす枯病（少発生）の発生がみられた。

朝日村の巡回ほ場は、収穫期であった。病害虫の発生はみられなかった。

#### 8 セルリー

松本市の巡回ほ場（施設栽培）は、収穫期であった（前回から場所移動）。病害虫の発生はみられなかった。

原村の巡回ほ場（露地栽培）は、生育期（トンネル被覆除去）であった。病害虫の発生はみられなかった。



図4 ハクサイべと病（朝日村）

#### 9 アスパラガス

豊丘村および飯島町（雨除け栽培）の巡回ほ場は、立茎中であった。両ほ場で払落しによりアザミウマ類（少発生）の寄生がみられた。

池田町（露地栽培）の巡回ほ場は、立茎開始期であった。払落しによりアザミウマ類（少発生）の寄生がみられた。

#### 10 たまねぎ

安曇野市の巡回ほ場は、収穫間近で倒伏していた。黒斑病およびべと病（いずれも少発生）の発生がみられた。また、アザミウマ類およびネギハモグリバエ（いずれも中発生）の寄生がみられた。

#### 11 ねぎ

南箕輪村の巡回ほ場は、本葉4.5～5.0葉であった。黒斑病（少発生）の発生がみられたほか、アザミウマ類およびネギハモグリバエ（いずれも少発生）の寄生がみられた。

山形村の巡回ほ場は、本葉4.0葉であった。アザミウマ類、アブラムシ類およびネギハモグリバエ（いずれも少発生）の寄生がみられた。

#### 12 きく

富士見町の巡回ほ場は、生育期（草丈約50cm）であった。病害虫の発生はみられなかった。